

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

冬季間でも木材の伐採は行われてますよ。



運搬されるスギ丸太



広葉樹の出材状況

最上支署では、年間を通して立木（国有林の間伐）の伐採・搬出作業を実施しています。

伐採から搬出までの流れは、①伐採 ②集材（木を集める）③造材（枝を払い切り揃える）④運搬 ⑤巻立（丸太を集めて積む）です。

林業の現場は、伐採～巻立まで行う高性能林業機械と呼ばれる機械で行われており、安全で効率良く作業が出来ます。（昔は、人力での作業が多く大変でした・・・）

冬季間に作業をするメリットは主に2つあります。

①雪上を重機が走行できるので搬出が容易。②虫害などの影響を受けない。などです。

伐採される樹種は主にスギ材で4m、2mに切りそろえられ積み上げられます。（多少、広葉樹も伐採されます）

積まれた丸太は、様々な用途に合わせて加工され、製品として流通していきます。

フォレスター連絡会議が開催されました。



会議の様子

【2月16日】山形県森林研究研修センター講堂にて、山形県フォレスター連絡会議が開催されました。

会議では、国有林と民有林の林務担当者、森林総合監理士（フォレスター）が出席し、各市町村や団体・地域に対して適切な指導助言を行っていくため、今年度の活動の報告や意見交換を行いました。

山形県の林務担当者からは、若手職員の技術向上を目指した「森林資源と林分材積算出の講習」や「作業システムや高性能林業機械導入の支援」についての報告がありました。

国有林側からは、東北局で実施された各種研修状況や各（支）署で行われた現地検討会を中心に報告しました。

意見交換では、森林の育成には高度な知識と技術を有する技術者が必要であるとの意見もあり、今以上に若手の職員や林務担当者の養成に取り組むこととしました。

これからも、森林・林業の正しい情報を発信するため、今後もこの会議を発展させていくことで確認しました。



今年度開催した現地検討会の様子

山形森林管理署 最上支署
〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11
TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706



国民の森林・国有林